

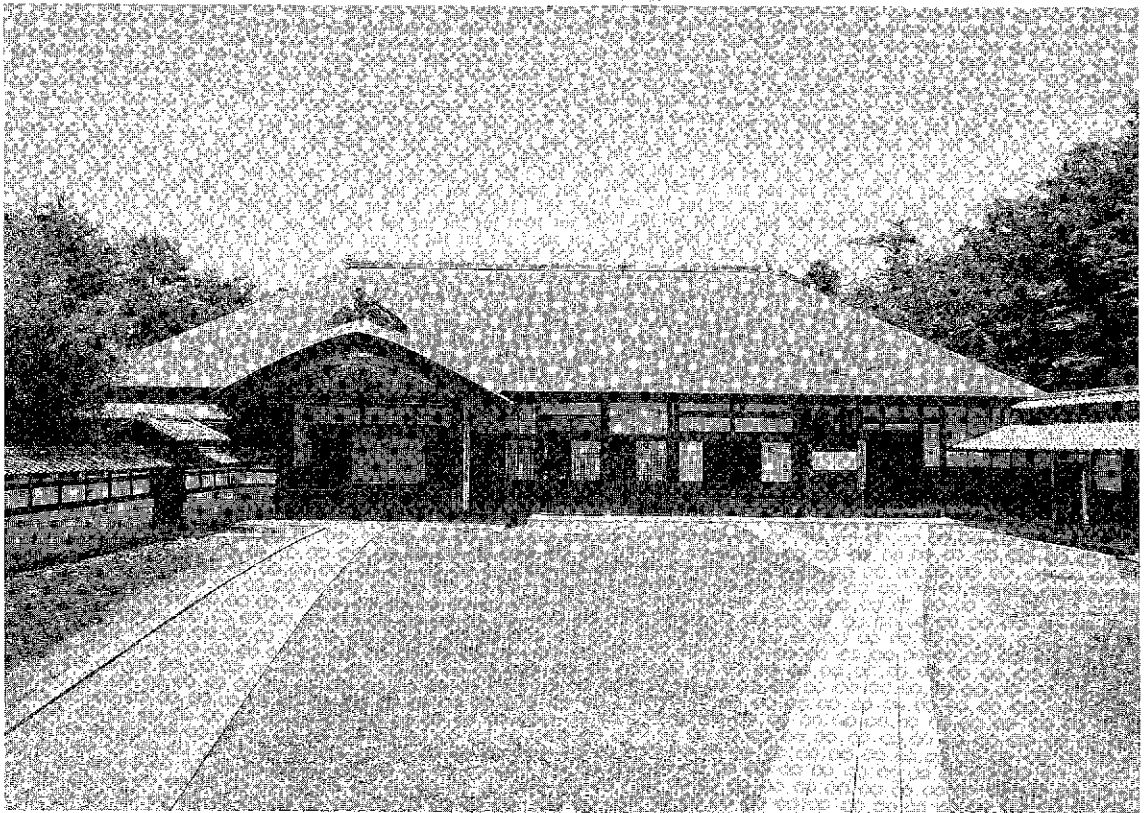
新潟県

平成7年

公民館月報

6月
第508号

特集 フィリピンのある少数民族（農耕民） 社会に学ぶ（その2）



笹川邸は天正年間の
建築のもので、茅葺き
屋根の残る堂々とした
表門と、大庄屋の趣を
漂わせてくれます。

西蒲・味方村

（写真・資料提供、西蒲・味方
村公民館）

大展開の大会にぜひご参加を!

第36回関東甲信越静公民館研究大会 第18回全国公民館研究集会

主題「生涯学習社会の構築をめざした公民館の役割を考える」

会場 群馬県民会館(前橋市)
期日 平成7年10月19日(木)～20日(金)

去る六月二日(金)～三日(土)にか

けて、関東甲信越静公民館連絡協議会理事会在開催された。

議案は、①平成六年度の事業報告について。②平成六年度取

支決算について。③平成七年度事業計画案について。④平成七

年度取支予算案について。⑤役員の改選について。⑥第18回全

国公民館研究集会の開催につい

てを審議して、

「第36回関東甲信越静公民館研究大会の実施について」の基調提案、同日にわたって開催される全国大会のあり方について討議されて終了した。

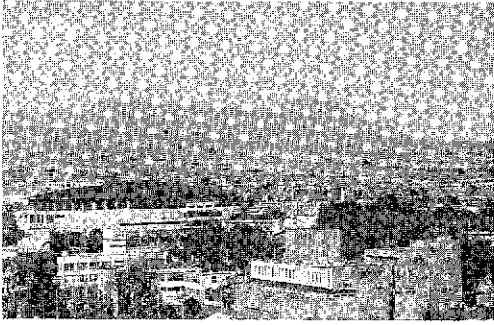
なお、当県の会長、細川仁氏が会計監査報告をした。

主会場は群馬県民会館(前橋市)だが、他12会場で分科会が開かれる。

新潟県は10月19日(木)に、第4分科会「公民館職員」―主題・生涯学習時代に対応する公民館職員のあり方を考える。の討議の視点②「自主学習グループ育成や団体育成にどのようにかかわるかを考える」を担当することとなり、

基調発表者 桑原 光江氏
(十日町市「ゆずり葉グループ」代表・児童民生委員・高齢者ミニコミ誌発行)が参加する。

多数の出席を期待している。



会場予定の前橋市

参加費と申込み
(1)参加費(研究会集資料、記録を含む)は一人につき、三、五〇〇円とする。
(2)参加希望者は、後日配布する様式「申込書」に参加費を添えて、7月20日(木)までに、新潟県公民館連合会事務局を経て申し込む。変更等は8月15日(火)までとする。

生涯学習推進に関する職員の初級コース(主として経験一年未満)を対象に計画されたもので、九月五日(火)に開催される後期研修へつながらる。
このたびの参加者数は五十五名であった。
大部分の参加者が新任したばかりであるが、意欲的な雰囲気であった。「何を、どこから、どう始めたらよいか分からない」という研修生が多いということを担当者から聞いたが、二十五日の午後の最終課程の「公民館の管理と運営」では、県公民館連合会事務局長の講義は、「生涯学習の推進と公民館(地域)の課題・公民館の問題を提示した。

生涯学習推進センター主催 生涯学習指導者研修会開催

去る五月二十三日から二十五日にかけて、県生涯学習推進センター主催の「生涯学習指導者研修会」が、県青少年研修センターを会場に開催された。市町村の社会教育・公民館等

後期に参加するときは、地域の課題をたくさん抱えて、専門職としての意識をさらに高めて来てくれるように期待している。

平成7年度 新潟県公民館連合会基本方針・重点目標・事業計画

基本方針

新しい時代の公民館の在り方として、「住民に身近な学習施設として、多様な高度な学習機会の開拓に努めるとともに、自主的な学習活動の積極的な援助を図っていく必要がある」といわれています。したがって、今後一層重要になるのは、学習情報の提供や相談機能を充実し、地域での生涯学習に関する情報活動の拠点としての役割を果たすこと」であります。

また、公民館の整備については、「個々の公民館の機能充実だけでなく、中央公民館を含め役割分担を考慮するなど、当該市町村における公民館が全体として地域住民に対し、均質的、文化的サービスの提供ができるよう、体制を整えていくこと」(公民館の整備・運営の在り方について)が求められています。したがって、県公連の体質強化の検討を続けていきます。

- よって、(1) 多様な学習機会、方法の開拓に関する工夫
- (2) 地域住民に対する均質的な教育的・文化的サービスの提供の方策
- (3) これらのための公民館施設設備や職員体制の整備充実
- (4) 本会運営上の体質強化策の検討

を重点目標として、次の重点事業を進めます。

重点事業

1. 情報の提供と交換

多様な学習機会の開拓に関する情報の相互提供・交換により、公民館事業の活性化に資する。

- (1) 「新潟県公民館月報」の紙面の刷新充実
- (2) 地区公連ならびに、郡市公連との情報交換の密接化
- (3) 関連行政機関・団体との連携強化

2. 研修の充実と参加

公民館長・職員の専門的知識技能の修得のため、研修機会の充実ならびに研修への積極的参加により資質の向上に努める。

- (1) 県立生涯学習推進センター主催の社会教育主事等職員研修ならびに共催の公民館長等管理者研修への積極的参加
- (2) 第45回新潟県公民館大会の開催
- (3) 上・中・下越地区公連の研修事業の共催

3. 財源の確保

本会の健全な運営の維持、一貫した機能発揮のため、安定した財源確保に努める。

- (1) 新潟県市長会・町村会及び新潟県当局の理解と援助を要望していく。
- (2) 自己財源確立のための検討をすすめる。

平成7年度第一回評議員会の報告。会の基本方針(P2)と役員表(P3)

平成7年度新潟県公民館連合会役員名簿

平成7年4月1日現在

郡市名	役職名	氏名	所属公民館
下越地区	会長	細川 仁三	新潟市中央公民館
	副会長	森井 忠三	新発田市公民館
	理事	松井 敏夫	新潟市中央公民館
	理事	鈴木 春夫	村上市中央公民館
	理事	中田 夫	燕市中央公民館
	理事	藤部 五京	五京市公民館
	理事	伊藤 白根	白根市中央公民館
	理事	渡辺 豊栄	豊栄市中央公民館
	理事	荒木 笹	笹村公民館
	理事	保田 小須戸	小須戸中央公民館
	理事	久保 卷町	卷町公民館
	理事	官福 津川	津川町公民館
	理事	福名 朝日	朝日村公民館
	理事	畑 真野	真野町公民館
中越地区	副会長	小林 秀夫	長岡市中央公民館
	理事	小川 三	三条市中央公民館
	理事	五十嵐 小千	柏崎市柏崎公民館
	理事	鳥山 小千	小千谷市公民館
	理事	山問 隆	加茂市公民館
	理事	野井 光	十日町市公民館
	理事	井上 志	見附市中央公民館
	理事	坂本 崇	栃尾市公民館
	理事	大沼 昭	中之島町公民館
	理事	小坂 正	出雲崎町中央公民館
	理事	井上 幸	入広瀬村中央公民館
	理事	酒井 一	塩沢町公民館
	理事	白藤 増	中里村公民館
	理事	遠藤 隆	刈羽村中央公民館
上越地区	副会長	早川 川	上越市立公民館
	理事	新井 魚	糸魚川市中央公民館
	理事	高橋 新	新井市公民館
	理事	橋本 大	大島村公民館

視点

新しい風、びっ子体験セミナー」に実施しています。子供たちは喜んで参加しています。ありがとうございます。おかげさまで、今年も「丸山」まで卒業する事が主体でございましたが、子育ての大脳生理学により、英語では卒業の事を「卒業」ではなく「卒業式」と呼ぶそうです。本日に驚いてしまいました。

「生涯学習の町づくりに取り組んでいます。その中、学・社連携事業の一端を紹介します。当町では、三、六年の児童を対象に「ち



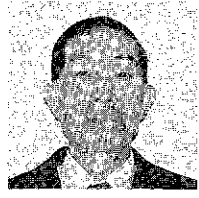
道歩(こう)、③雪に負けるなフェスティバル(スキー体験・雪上ゲーム)、④ハンバーグ作り、⑤昔の遊び、などです。この事業は、三学期

土屋 秀夫

子供がいきる学・社連携

「かんじきは、昔、業を通して多くのことを学び取っています。例えば昔の人の生活の知恵、友情と協力の大切さ、周囲の人々への感謝等、この期の社会教育の大事さをつくづく感じました。(真野町立真野小学校 長・元下越教育事務所 社会教育課副参事)

生涯学習に人生を教えられて



播磨から 墓場迄生涯 学習が大きい頃、私は公選審委員に任命されました。何も知らない私は手始めに幼児教育からと外山滋比古さんの「初めに言葉ありき」を読みました。人間の基本的原点が幼児の頃から形成されるのを始めて知りました。著者は皆さんは教育は大学大学と言うけれど、人間の基本的な幼少期に始まりがあり、小学校は大学期であり、中学校は高校期であり、小学校以前は大学院に匹敵する重要さをもっている。知識は高学年で得られるけれど人間の精神的形成は幼少期にほぼ決まる。鉄の湯は冷めてからはカチンカチンと叩いても直す事は難しいと力説されてきました。又子育ての大脳生理学を書かれた高木貞敬さんの本には子供の脳の記憶の配線の伸長は一才から七才頃が最も高く十才位まで続いて伸長率はほぼ横這になる。三つ子の魂百

高木 茂

ひ ろ ば

迄もと云う諺が今日迄伝わっているこの時期は生れて初めて物を見る頃の働きは一生にとり決定的で大切な段階で、脳の発育の初期の特別な記憶は脳に一生に当り、家庭教育担当の父と母が大事なチャンスと逃す事なく吾が子の為に訓育して下さい。農作物を栽培する基本に健苗の育成が第一です。苗半作また七部作と申します。教育的効果と申しまして根張り活着耐病性も増大し良質多収の秘訣です。近年まで日本人は勉強は高校、専門学校、大学を卒業する事が主体でございましたが、子育ての大脳生理学により、英語では卒業の事を「卒業」ではなく「卒業式」と呼ぶそうです。本日に驚いてしまいました。

田村公民館運営審議会委員長

先回の梗概

本題の「統」を掲載します。日本人の尺度でものを見ることを極力避け、フィリピンの少数民族の実像にふれていただき、多くの示唆を頂戴しました。講師からは、「専攻の文化人類学者としての豊かな感性でお話しくださいましたものですが前章は

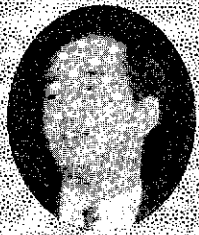
概観

一、多民族国家・フィリピンの
二、フィリピン社会の一般的特質
三、北部ルソン山岳地帯に居住する少数民族から学ぶ

でした。(編集子)

課題を追って
(農耕民)社会に学ぶ
(その2)

木佐木 哲朗 氏

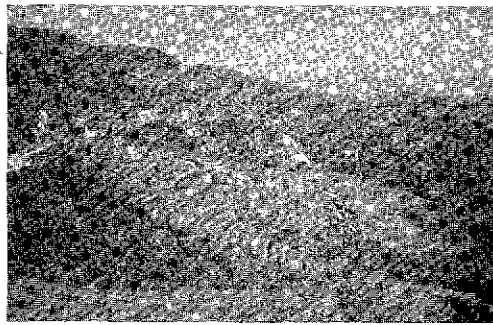


木佐木 氏

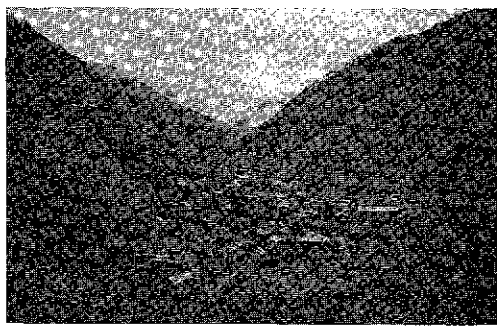
三、北部ルソン山岳地帯に居住する少数民族から学ぶ(統)

ムラ人たちは、労働や儀礼で協同したりムラ内婚が多く親族関係で結ばれていたりするだけでなく、隣接するムラ同士で戦う場合もありますので、現在でも強い連帯意識を持っています。望ましいことではないかもしれませんが、ムラ間の争いは今でも起こります。伝統的には先程のアト集団が単位となっており、敵対するムラ人の首狩りが行われてきました。ムラ人が他のムラ人から殺されたり、傷つけられたりした場合、ムラ全体で復讐しなければなりません。しかし、ムラ間での紛争を解決し秩序を守るべく、平和協定も結ばれているわけです。誤解しないうでいただきたいのですが、首狩りは決して無秩序な殺し合いではありません。まずルールにのっとり宣戦布告が行われ、相手方が避けたいのならその罪に見合うだけの水牛などで弁済することもできます。またもし賠償が拒否された場合、一人殺されたら相手方の一人を殺してバランスをとるということで、相手のムラを全滅させるとか棚田を全部取り上げるといようなことはあり得ません。首狩りという行為だけを見ると、野蛮

バギオ市からポントック町へ山肌を縫うようにして向かうが、その周辺いたるところに棚田や段々畑が築かれている。

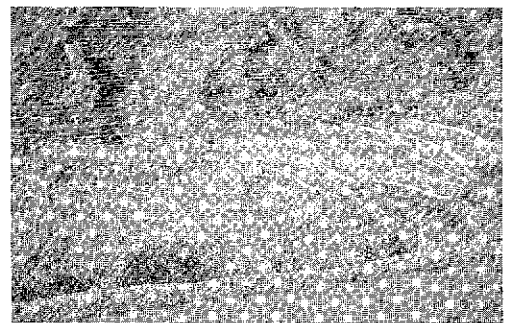


で残酷な殺人の方法のように思われるかもしれませんが、実際には死んだ、あるいは絶命直前の敵方のムラ人の首を狩り、その首を白らのムラに持ち帰り敬意を表して儀礼を行ったのです。恨みを込めてあるいは処刑法として首を狩ったのではなく、霊が宿ると考えられている頭蓋がムラに豊饒をもたらすという信仰などから伝統的な首狩りは行われたのです。もちろん、今では伝統的な首狩りは行われていませんが、アニト霊信仰に支えられたその精神は現在でも



し、米やサトウキビから作った酒を普段飲む時でも、必ずその場の年長者がその一滴を地面に垂らしアニト霊にまず語りかけます。またムラへの出入りの際には、悪い霊をムラに招き入れたり良い霊をムラから出さないように気をつけます。彼らの信仰によれば、人間は肉体とアニト霊からなっており、死とはその人間からアニト霊が抜け出たということなのです。肉体は死んで土に戻りますが、アニト霊は死んでもそのあたりを徘徊しており、いつかまた死者の子孫の肉体に宿ると信じられています。

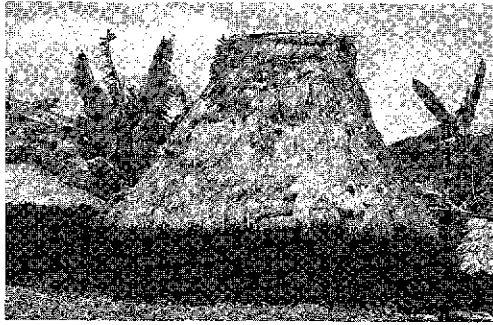
生きています。多少横道にそれますが、「首狩族」とか「裸族」といような人々はいないわけですが、そのような蔑称を安易に使うことなく、彼らの自称を重んじるべきだと思います。ここでもう少し、彼らの伝統的な精霊信仰について述べたいと思います。アニトと称する死霊に対して恐れ敬う信仰が、生活の隅々まで行き渡っています。さまざまな儀礼がその信仰に裏付けられているだけでなく、アニト霊は彼らの身近な存在であり日常のかかわる言葉です。儀礼の際の祈りや供物はアニト霊に対してなされます。ポントック族の多くの家屋が密集した桃源郷を想わせるようなムラ。



集落のまわりに広がる棚田。長年の人々の努力の結晶である。

シリーズ 暮らしの フィリピンのある少数民族

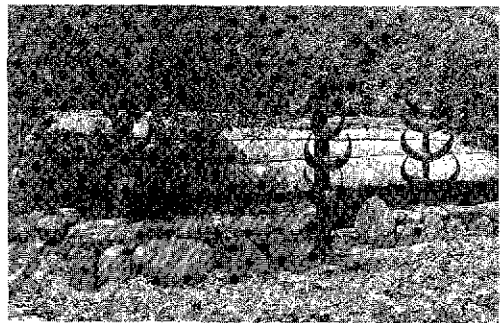
県立新潟女子短期大学 国際教養学科専任講師



伝統的な家屋で隣にはトイレを兼ねた豚小屋がある。

す。そこで、伝統的な彼らの子供の命名法は、祖父の世代の死者親族の名前の中から選ぶのが一般的でありました。アニト霊は世代を経て復活再生し、死者が孫世代の名前を通して記憶されると言えるかもしれませぬ。この身近なアニト霊は正しく扱われれば人々に幸をもたらしてくれませんが、そうでなければ人々に災厄をもたらすと考えられています。ですから、人々はアニト霊に常に注意を払わねばなりません。年長者とくに長老たちは、事あるごとにアニト霊に語りかけ祈ります。子供のしつけの問題でもありますが、その中心は家庭よりも、男の子のための若者宿や女の子のための娘宿の存在が大きかったようです。そこで年長者は、アニト霊とのかかわりでさまざまなことを教えます。このように子供も小さい時から周囲との触れ合いの中で、ごく自然にアニト霊の存在を信じるようになりま

す。つまり、彼らの生活を律しているのはアニト霊であると言っても過言ではありません。また、アニト霊信仰ともかわりの深い、彼らの伝統的自治慣行についても簡単に触れたいと思います。基本的にムラの内部の事柄はすべて、アトでの長老たちの民主的な合議によって



若者の寝宿であり合議や儀礼も行われるアトと呼ばれる聖地。

決められます。ここでは、農作業や儀礼の日程などを決めるだけでなく、ムラ人の紛争も処理されます。例えば、盗難や暴力事件がムラ内で起こることがあります。ただし、犯人が分かっても体罰が加えられることはまずありません。何らの形で賠償して示談で済ますわけです。長老に誰かが訴えたとその噂はムラ中に広まります。そうするとこの噂を恐れたり、犯人やその家族などをアニト霊が罰するという恐れから、犯人が盗品を戻したり謝罪を申し出たりします。その場合、まさしく「罪を

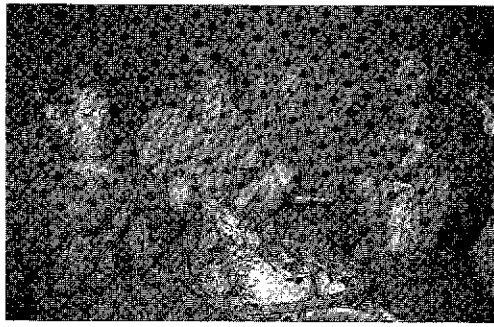


憎んで人を憎まず」という精神である。一方、ムラ間の秩序は原則として、細かい規定を持った平和協定によって維持され、その間では物々交換や婚姻聖地に儀礼の際集まった長老を除く正式な男性メンバーたち。

や儀礼への招待が行われます。さらに最近フィリピンの中で、北部ルソン山岳地帯ほぼ全域に及ぶ地域自治の問題が注目されています。詳しくお話する時間はありませんが、この広範囲な自治が成功するためには、彼らの伝統的な平和協定システム(慣習法的自治制度)を、国側も理解し応用することが肝要だと思われま

おわりに
彼らは近代文明には取り残された人々かもしれない。しかし、彼らの知恵や慣行あるいは豊かな文化に学ぶところは多くあります。今世紀以降彼らとて、大きな変化の波にさらされてきました。学校教育やキリスト教の影響、市場経済の浸透による出稼ぎの増加、交通の改善や外部情報の流入などで変化は避けられませぬし、新しい価値観が芽生えているのも事実です。しかし、国家や外部権力などと戦いながら、現在でも多くの伝統を残しています。彼らの社会には、低地の大地主や都市部の財閥などの特権階級も存在せず、山林が国家に取り上げられない限り棚田を維持・造成することが可能であって、自給自足の比較的平等な生活が約束されてきました。ムラ人は皆、生産者消費者であり自らの田畑を持っています。もちろん、所有する田畑には多少があり貧富の差が生まれないわけではありませぬ。しかし、そういう経済的格差に基づいて持てる者が自らその財を儀礼の際などに供出するようない、不平等を是正させるシステムが発達しているのです。財の永続的集中を避けるだけな

く、ムラ政治の中心には複数の長老世話役があり、権力も特定個人に集中させないようにはしてあります。個人的資質によって尊敬を集めたり、相続や努力によって裕福になることがあっても、伝統的にはそれが世代を越えて続くというものはなかったのです。持てる者が評価されるのではなく、自らそれを供出する者が尊敬されるのです。それ以外の人も、身体的な障害を持った人でさえ、それなりの社会的役割が与えられています。人をそれぞれに評価するという姿勢は、子供の遊びにも垣間見



儀礼で供養された豚に聖屋の中心でひたすら祈りを捧げる長老たち。

最後に今後の問題として、出稼ぎなどにより田畑はあっても耕し手が足りないという所がでてきました。農作業は人手のみに頼っており、田植えや収穫などが遅れ気味になっているのです。これは単に農事の問題ではなく、ムラ人たちにとって重要な農耕儀礼に影響を与えます。儀礼を正しく行えないということとは、その背景にある彼らを律してきたアニト霊への信仰にかかわる問題となります。また、彼ら先祖伝来の棚田の所有は明確ですが、勝手に処分できるものではないかもしれません。しかし、このような共同体規制が崩れる可能性はありません。さらに、開発の手が伸び自給自足の原則が崩れ新しい価値観だけに支配されると、ムラの伝統的な自律した生活は破壊され、決定的な階層分化や権力の集中などが起こり矛盾と格差が拡大する恐れがあ

ることができません。つまり、上から順位をつけたら、勝敗がはつきりするような遊びはあまりありませんでした。また学校でも表彰する場合、成績のそれとは別に、学習態度や出席状況あるいは下級生の世話などによる表彰も同じように行い、極端に言えばすべての生徒が何らかの表彰をされるように配慮しているようです。

葬儀で死者の椅子に座らされる老女。展示期間はまちまちである。



ります。幸いにもここまではまだ至っていませんが、最近気になる問題として、ムラの中の若者と老人の考え方のギャップやムラに頻繁に入出入りするようになった国軍の兵士やゲリラのことがあります。そして小さくて大きな問題でもあります。彼らには元来姓に当たるものはなかったわけですが、学校や行政上の問題などで姓と名が必要になり、またキリスト教の影響で洗礼名を持たされるようになり、従来 の命名法に変化が生じてきました。父親の名を姓として名乗り、洗礼名を名とするように変わっていくのです。彼らは私たちがのために存在するわけではあり

ませんから、このままでいて欲しいとは勝手に申せません。しかし、私たちの価値観を押し付けて同化するようなことは決してしてはなりません。彼ら自らが、変化の道筋を選び取ることが大切だと思います。彼らが強制されてではなく、白らの信仰に基づき自らを律してゆく姿に、真の自由人を見る思いがいたします。私たちとは異なる価値観や論理に生きる人々ですが、対等な立場で彼らから学ばせてもらうことはたくさんあるというのを、少しでも実感していただけたなら幸いです。まとまりのない話でしたが、ご清聴ありがとうございました。

(拍手)

糸魚川 転入奥様 ようこそ



わが町の魅力を紹介
スクール今年も開催!

糸魚川市に転勤、結婚などで転入してきた婦人を対象に、市のことを知ってもらうとともに仲間づくりをすすめるという「転入奥様スクール」の開催式が平成7年5月22日、糸魚川市の中央公民館で開かれた。平成5年度からのスタートで月一回程度のスクールで、市内の歴史、名跡訪問、郷土料理調理体験、産業理解から始まって、「貴重な体験を自分たちで記録に残そう」という声で、受講生がつづつた「産声集」ができあがった。

この活動記録には「仲間がたくさんできた。」という声はずんずん出ています。(平成7年5月24日)の新潟日報にも紹介されました。糸魚川市中央公民館長 山口資郎氏からの発信です。

サークル交流

笑顔でパワーアップ

寺泊町コールエコー・はまなす

公民館のコーラス教室として産声をあげて二年。歌うことが大好きな人ばかりですので、そのまま合唱サークルを結成。講師の熱心な指導と、公民館主宰の適切なサポートを得て、自主活動をして一年が経ちました。

通常は月二回、公民館のオルガンで練習しています。切り替えが上手(?)なので、前の注意が活かされず「上達する」には大変です。発表の日が近づくと練習回数も週一回と多くなりま

すが、思うようには歌えません。しかし、敬老会・町芸能祭・中学校文化祭に参加の機会を得ることができました。

さらに、今春には大胆にも県のおかあさんコーラス発表会へ参加をし、大いに刺激を受けてきました。

秋にオープン予定の寺泊町文化センターでの発表を目標に、熟年パワーを込めて、練習を開始したところです。

「常に笑顔で楽しく」をモットーに、美しい響きが出せるよう、充実したサークル活動を続けたいと思っています。

(コールエコー・はまなす 代表 小林修子 記)

仲良く楽しく歌う

シルバー世代のコーラス

見附市 はまなすコーラス

平成五年四月、見附市中央公民館で六〇才以上を対象にコーラス参加者を募り、講師の先生二名と会員三一名で発足致しました。発足当初から人気があり途中入会が多く、その年に五五名に増え翌六年度末には六四名となりました。

サークルの名前は皇太子妃雅



シルバーコーラス見附市

子様のみしるしにあやかり「はまなすコーラス」と名付けました。会員は最高年齢八六才を筆頭に、毎週金曜日の練習日を持ちかねて集まらず。練習は発声、楽譜読みを基本に懐かしい童謡、

文部省唱歌、青春時代の愛唱歌そして時には新しい感覚の歌も歌っております。

若いコーラスグループとの交流会や市のお年寄りの会に招かれて合唱も致します。茶話会、クリスマス、新年会、年度末の会等親睦を深め新しい友達が出来、和気あいあいと若返って歌っています。三年目の今春は会員七〇名でスタートし、今年も仲良く楽しく精いっぱい歌おうとはりきっています。

(同会 上田ミヤ子 記)

笹神村公民館主宰

羽多野真紀 氏

「マキちゃん」「はーい!」と、春風のような清々しい声が館内に響きます。

我が課のアイドル、マキちゃんはまだ今、青春真っ盛り!

今日も元気いっぱい。朝一番に来て、みんなにおいしいお茶を入れてくれるところから始まります。公民館図書室の全般を

担当し、また、リリーダー研修の企画・運営とテキパキ



担当し、また、リリーダー研修の企画・運営とテキパキ

素顔拝見

小須戸町中央公民館主宰

野崎 義和 氏

今年で二十四才の若輩者ですが、隅から隅までズズズとよろしくお願い申し上げます。

四年前役場に採用され、産業界を二年勤務し、昨年公民館へ配属されるや否や大量の仕事が待ち受けていたのでありました。

公民館の仕事を感じる時間もなく毎日を必死で過ごしている。持つて生まれた強靱な体力?と抜群の才能?を發揮しているようですが、なかなか仕事の流れを掴めず指導を受けています。現在は、親子チャレンジ



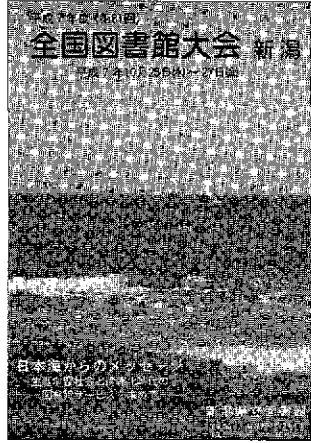
教室・陶芸 教室・花 いっぱい教室を担当しています。

加えて、町の大きな組織である文化協会の手務局としても活躍しています。彼の趣味はと言いますと、競馬・走ること(本人)です。スポーツは、野球・卓球・スキー(去年から虜になりました。)とこなします。周りでは早く彼女ができればと思っっているのですが……。彼女募集中です。(小須戸町中央公民館 藤田 尚義 記)

(小須戸町中央公民館 藤田 尚義 記)

と仕事をこなし、時には、レクリエーションダンスの指導者として、その才能を發揮しています。美人・独身気だてがいいと三拍子そろった才女であります。趣味は、スキー、登山、マラソンと、何でもこなすスポーツ派と、「詩吟も好き。」という古風な両面をもっています。「のぞくだけです。」なんてとんでもない。溢れんばかりのチャレンジ精神と意欲で公民館の事業を引っばっていつてくれると期待されています。(笹神村公民館 太田ノリ 記)

(笹神村公民館 太田ノリ 記)



日本海からのメッセーシ

館種を超えた

全国図書館大会新潟(第81回)へどうぞ!

平成7年10月25日(水)〜27日(金)

新潟県においては、ようやく公立図書館整備の機運が高まが見られます。

図書館等情報のネットワークの形成により、県民のニーズに応え得る体制が築かれつつあります。

図書館に対する人々の期待は多岐にわたり、専門化の傾向も示しております。

このような情報化時代の傾向にあつて「館種を超えた図書館が「図書館サービス」を共通項として研究協議の成果を「日本海からのメッセーシ」として発信しようというものです。

ぜひ、参加して地域づくりの足場となるものを捜しにおいて

お問い合わせ

新潟県立図書館 新潟大会係

〒950 新潟市女池二〇六六

☎〇二五・二八四・六〇〇一

☎〇二五・二八四・六八三二

日程	9:00 9:30	12:00 13:00	16:00 17:00	19:00
10月25日(第1日)		受付 開会式・全体会	移動	懇親交流会
10月26日(第2日)	受付	分科会 昼食	分科会	
10月27日(第3日)	受付	全体会・閉会式	視察	

第1日目 開会式、全体会 新潟県民会館
記念講演 朝日酒造専務取締役 嶋 博司様
分科会(14分科会) 新潟県民会館ほか市内各会場

第2日目 分科会、閉会式 新潟県民会館

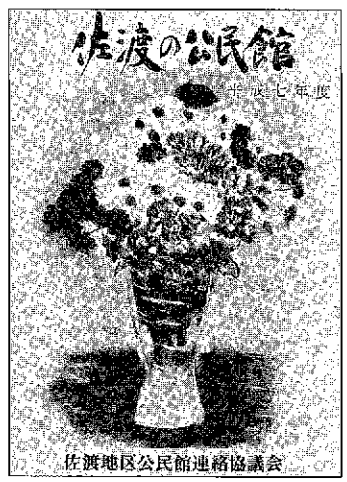
第3日目 全体会、閉会式 新潟県民会館

記事訂正のおわびとお願

平成七年度四月号の「特集・公民館だよりで地域の再発見」長岡市太田公民館「信仰を伝える観音様」は「双体道祖神観音像」が正しいとのご指摘がありました。おわびして訂正いたします。

これこそ役割つ情報資料

佐渡地区公民館連絡協議会



佐渡地区公民館連絡協議会で、その年度の「佐渡の公民館」を年度当初いち早く発刊して情報交換に役立て、市町村のコミュニケーション材料として高い評価を得ている。

「行政の重点」「社会教育の重点」「関係期間・職員」「事業の概要・予算(公民館、社会教育、社会体育、郷土博物館など)、

すっきりした編集で、一覧表も順序性があつて活動内容や裏づけが一目瞭然ですぐれた資料である。

手づくりの温かい味わいと、適時的な提供で有効なネットワークといえる。県や地区の事業も掲載されていて多くの示唆を与えるものがある。

面白い、驚いた、なぜ、わかった、までを「ロボット探検館」でたしかめよう!

新潟県立自然科学館での特別展企画で、意欲的に開催するものです。各界の後援と展示協力を得て新機軸を示すご自慢の内容です。

- (1) ロボットのしくみ
 - (2) アミューズメント性(遊技性)
 - (3) 体験性
 - (4) 豊かな現象
 - (5) 大型化
 - (6) 子供も大人も面白い
 - (7) 操作のわかりやすさ
 - (8) ロボット操作、工作指導など、創意がこらされています。茶運び人形、熊さんロボット、世界最小ロボット「ムッシュ」、絵かきロボット、においロボット(好きなニオイと嫌いなニオイをかぎわかる)など見逃せない企画です。
- ぜひご来館ください。とスタッフは誠意をもってお迎えしたいと張切っています。
- 期日 平成7年7月25日(火)

8月31日(木)、34日間。

会場 新潟県立自然科学館内(エントランスホール)

問い合わせ 千九五〇新潟市女池字連潟東二〇二一―二五

☎〇二五(二八三) 三三三一

☎〇二五(二八三) 三三三六

◆公民館活動がダイナミックに

始まりました。いろいろな情報やご相談ありがとうございます。

◆去る5月12日(金)「広報関係事務担当者連絡会議(初会合)」が開催されました。6団体でしたが機関紙(誌)の基本的な技術と適時性、読ませる内容への工夫、経費の実態などの実践的な取組の方法などの意見がでて有意義な会議でした。へ県高齢者総合相談センターさんのおはかりでした。(鴨井 記)

発行所 新潟県公民館連合会

〒951

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【TEL・FAX (025)224-6073】

発行人 会長 細川 仁

編集人 事務局長 嶋井 三郎

【定価1部150円 年共・年極1,800円】